

六月二十二日にカンボジアの首都プノンペンで開催されました国連教育科学文化機関（ユネスコ）世界遺産委員会が日本の富士山を「信仰と芸術の源泉」として世界文化遺産に登録することを決めました。但し、二千十六年二月までに来訪者対策や登山道の保全、登録された神社や登山道などの管理システムをユネスコに提出する事になります。内容が異なり登録を取り消された世界遺産もあります。我々は生活環境の保全保護に努める必要があります。

親子は二世、夫婦は二世といえます。夫婦として結ばれるにはその因縁浅からず。結ばれて子が授かる。父あるは幸せ、母あるは幸せ」ではありませんが「輪廻転生から言えば良

き父に恵まれ、良き母に恵まれ、良き兄弟に恵まれ、やがて良き伴侶にめぐまれ、そして良き父となり、良き母となり、」と言う様に代々が良き縁で結ばれていくことです。』人間とし

て良き環境に生まれる為には人間として生まれた事に感謝をする事から始まります。佛様の教えに三帰依文があります。大身受け難し今既に愛く、佛法聞き難し今既に聞く、この身

今生に度せずんば、更に何れの生に於いてか此の身を度せん、大衆諸共に至心に三宝に帰依したてまつる。つまり、人間として生まれるのはむずかしい事ですし又、仏法を聞く

事も難しい事ですが御蔭を頂き人間に生まれれば佛の法を聞く機会に恵まれます。この世で悟りを開き皆様と共に心から三宝に感謝しましょうと言うことでしよう。世の為になる働き

をし、身に陰徳（いんとく）大知れず良き事をする）が積もれば、良き環境を開拓する事ができます。悟りを開くとは 天間には二〇八の煩惱があると云われていますが普通は五つで 財欲・

色欲・食欲・名誉欲・睡眠欲」です。これらの欲望をいかに制圧するかにあります。仏道の修行には八つの正しい行いをせよとあります。正見・正思・正語等の八つです。清く正しく

身を保つためです。国民の一人一人が正しき道を進めば、人間同士が欲望を満たす為の罪悪に悩まされる事無く安心して生活する事ができます。しかしながら此の世は末法（まっぽう）とい

つて「五濁悪世」の中にあります。一つには「劫濁」といい戦争等々により環境破壊が起きるようになる。一つには「見濁」といい思想の混乱により世が乱れる。一つには「煩惱濁」と

いい煩惱により引き起こされる身勝手が横行する。当に現在の実体であります。労働基準監督署に勤務されていた長友トミ子女史の著に「石佛のつぶやき」という本があります。そ

の中に「由は動かぬ佛の心、雲は流れる人の心」とあります。当にその通りで不動の慈悲心をもって、我々を救い導いて下さるのが佛様でしょう。それにひきかえ人間の心は浮草のよ

うに安定しないものです。神佛に祈りを捧げる時間が持てれば、少しは心に余裕が出来るのではなかるうか

二十五年八月一日

善壽男善入院油掛地藏尊